

三郷市全域をステージした持続可能な交通環境づくりモデル事業

事業概要

つくばエクスプレス三郷中央駅を中心としたバス交通ネットワークの構築に併せ、駅前広場整備、駅周辺道路の整備、公共交通情報提供システム整備等の公共交通利用促進策により、自動車利用の抑制を図るとともに、道路交通の円滑化のための渋滞対策等を促進し、CO2の排出を抑制するなど、環境的に持続可能なコンパクトな交通環境を創出する。

ESTモデル事業(計画及び実施事業)

1. バス交通利用促進関連事業 (●:実施箇所)
 バス交通ネットワーク再編成事業(市内全域)
 バス共通ICカード導入事業(市内全域)
 公共交通情報提供システム導入事業
 バス車内地域情報システム導入事業(市内全域)
 インターA地区商業施設(ピアラシティ)へのバスの導入
 インターA地区商業施設(ピアラシティ)における宅配便の導入
 バス・鉄道共通ICカード導入(市内全域)
 ホームページ等によるバス情報の提供(市内全域)

2. 交通結節点整備等関連事業 (●—:実施箇所)
 三郷駅・三郷駅周辺のバリアフリー化、安全で円滑な交通環境づくり
 三郷中央駅駅前広場整備事業
 新三郷駅駅前広場、公共交通シームレス化導入事業
 ピアラシティバスターミナルの整備事業

3. 道路交通の円滑化、安全性確保の関連事業 (●—:実施箇所)
 幹線道路へのアクセス道路整備事業
 道路渋滞及びバス走行環境の改善事業調査
 交通安全施設整備事業(市内全域)

4. 自転車利用促進関連事業 (●:実施箇所)
 サイクルアンドライド、サイクルアンドバスライド促進事業
 駅からのサイクリング促進事業(市内全域)
 自転車ネットワークの形成(市内全域)

三郷市の代表交通手段分担率



目標: 対16年度比公共交通利用率1%アップ、CO2削減量約3,500t (約1%)削減

八潮市におけるESTモデル事業の概要

八潮市分として計画されている事業

平成17年度から開始する事業

- バス交通ネットワーク再編成事業
- コミュニティバス導入事業
- バス共通ICカード導入事業の検討
- 公共交通情報提供システム導入事業
- 八潮駅前広場整備事業
- 八潮駅周辺高架下駐輪場整備事業
- ホームページ等によるバス情報の提供

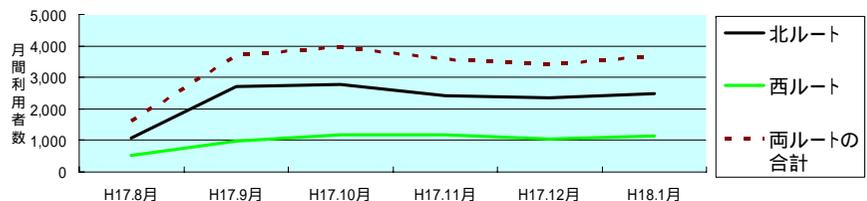
平成18年度から開始する事業

- バス路線再編後のフォローアップ調査実施
- バス路線網再々編の検討

目標値

- 公共交通利用者数前年比0.5%（17年度）増加
18年度は0.7%増加、19年度は0.9%増加を目標
- 新規バス路線利用者数1便あたり12人確保
自家用車の利用を抑制しCO₂の削減を図る

コミュニティバス月間利用者数の推移



運行初日のコミュニティバス

再編後のバス路線網(平成17年8月24日から)

